

# カネソウ E X ジョイント 免震構造建築用 MX シリーズ

## エキスパンションジョイント 施工要領書・取扱説明書

---

**対象製品：**天井部免震エキスパンションジョイント  
X方向レールスライド式 Y方向レールスライド式  
本体パネルステンレス製プレートタイプ **MX44SR**

### 施工およびご使用される前に必ず最後までお読みください

この度は、カネソウ E X ジョイント免震構造建築用をご使用いただき、誠にありがとうございます。  
施工する前に、必ずこの「施工要領書・取扱説明書」をご一読いただきますようお願いいたします。  
間違った施工・取扱を行いますと、製品のガタツキや損傷、事故につながる可能性がありますのでご注意ください。

なお、施工終了後は本書を御施主様あるいは建物管理者様へ、必ずお渡しいただくようお願いいたします。  
本書は、いつでも見られる場所に必ず保管していただくようお願いいたします。

---

**カネソウ株式会社**

〒510-8101 三重県三重郡朝日町大字縄生81番地

**TEL (059) 377-3232 FAX (059) 377-3905**

東京支店

TEL (03) 3433-6645

大阪営業所

TEL (06) 7639-5870

仙台営業所

TEL (022) 214-8088

福岡営業所

TEL (092) 432-2532

URL: <https://www.kaneso.co.jp/> E-mail: [info@kaneso.co.jp](mailto:info@kaneso.co.jp)

この内容は2023年10月現在のものです。仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

## EXジョイントを安全にご使用いただくためのお願い

本製品は正しく取り扱うことで、安全にご使用いただけます。  
製品の誤った場所での使用、誤った取り扱い、破損したままの製品を継続して使用することによる、事故の未然防止のため、下記の注意事項をお守りいただくよう、お願いいたします。

### 設計上の注意事項

#### 設計前に必ず使用場所の確認をしてください。

設計前に必ず使用場所の確認を行ってください。エキスパンションジョイントは製品によってサイズ・形状・仕様が大きく異なります。設計前に必ず使用場所の確認を行ったうえで、製品を選定してください。本施工要領書・取扱説明書に掲載されている製品の使用場所以外には使用しないでください。

### 施工上の注意事項

#### 加工をしないでください。

切断、穴あけ、切削、変形などの加工を施さないでください。製品強度の低下や、錆の発生原因となり、事故を引き起こす恐れがあります。

#### 外部からの強い衝撃を与えないでください。

搬入時などエキスパンションジョイントに、衝撃や荷重をかけないでください。破損や変形する恐れがあります。

### 取扱・維持管理上の注意事項

#### 維持管理上の注意について

本体パネルが破損したり紛失した場合は、速やかに取り替えまたは補充をしてください。取り替えまたは補充をしないと、転倒事故などによりケガおよび骨折の恐れがあります。特に地震など大きな変位があった後は、製品の破損状況や本体パネルなどが所定の位置に戻っているか、ガタツキ等がないかを確認し、安全な状況を確認してから通行してください。

#### すき間に指を入れないでください。

本体パネルと本体パネルのすき間や、本体パネルと受枠のすき間などに指を入れると、指詰めなどのケガをする恐れがあります。すき間に指を入れないでください。

#### 持ち運び及び輸送には、充分ご注意ください。

重量の重い部材があります。腰などを痛めたり、足の上に落とすとケガの恐れがあります。

#### 取り付け・取り外しは専門業者に依頼してください。

エキスパンションジョイントの施工および取り扱いについては、製品の機能を維持するため、また、施工・取り付け不良による破損や変形、不具合を防止するためにも施工要領書・取扱説明書記載の手順を厳守してください。清掃や交換などのメンテナンスが必要な場合は、専門業者に依頼してください。取付方法を誤ると、破損や変形、ガタツキを招き、事故を引き起こす恐れがあります。取り付け・清掃・交換・点検などの際は必ず作業用手袋を着用してください。

#### ステンレス製品について

ステンレスは、絶対に錆びない金属ではありません。ステンレス製品を美しく保つには、設計、施工上の配慮に加えて、適切な清掃と手入れが必要です。清掃にあたっては、状況に応じた適切な方法を選んでください。また、ステンレス製品のうち、SUS304を使用している製品におきましては、通常、磁性を有しませんが、生産工程における曲げ加工や溶接などにより、加工部分の金属組織が変わり、磁性を持つようになる場合がありますので、ご了承ください。

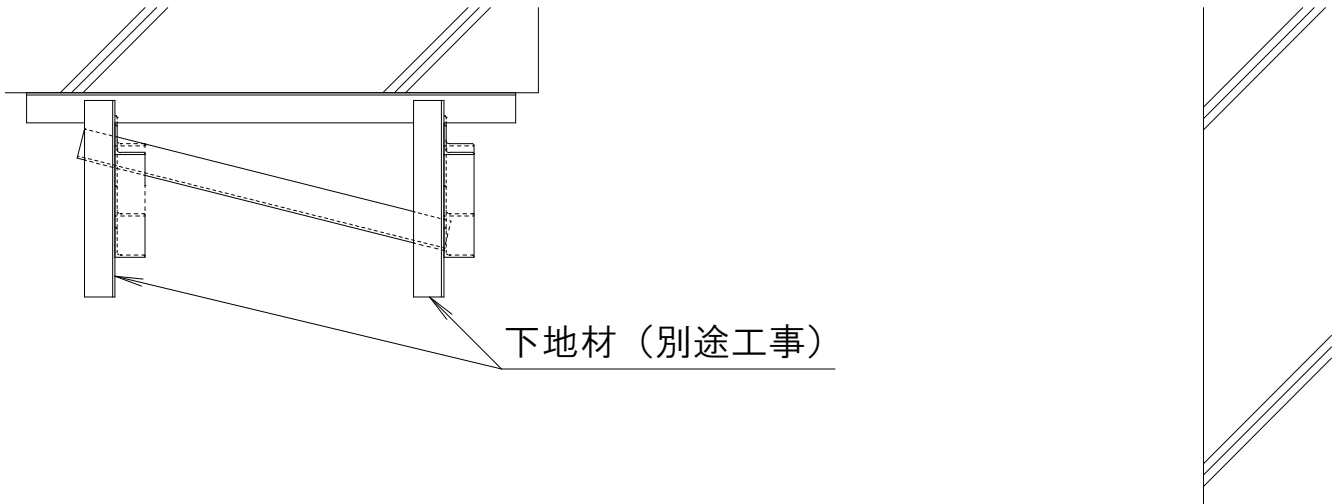
#### 破損、変形、ガタツキが発生したエキスパンションジョイントは使用しないでください。

何らかの原因で、破損や変形あるいはガタツキが発生しているエキスパンションジョイントは、強度が著しく低下しており、事故を引き起こす恐れがあります。適正な製品に交換してください。

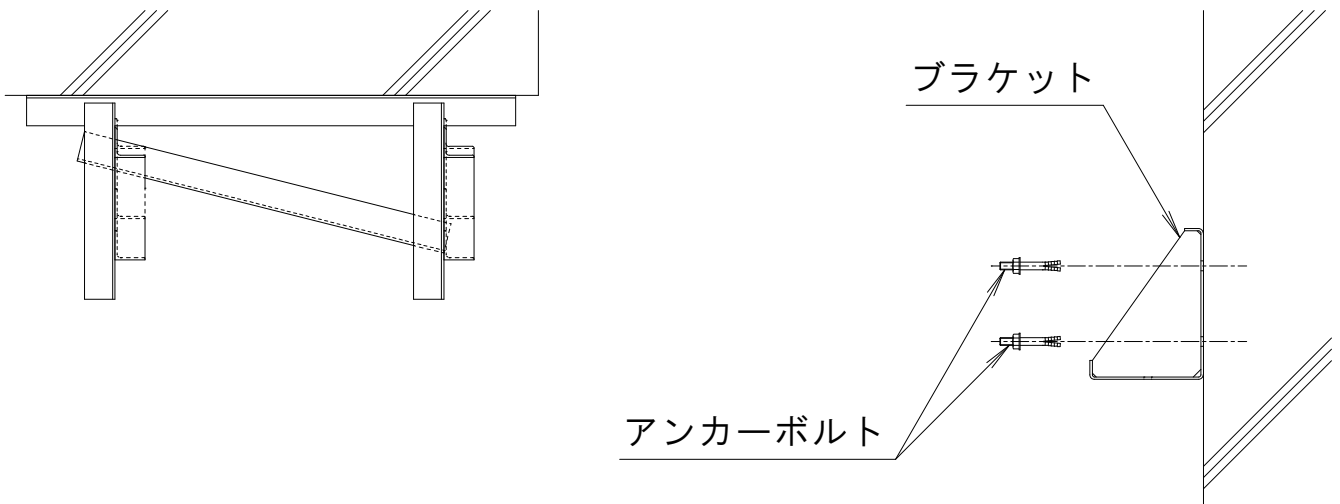
#### タイル等を清掃する場合の注意事項

タイル等を酸系統(次亜塩素酸ソーダなど)の洗浄液で清掃する場合、金属製品(ステンレス・アルミニウム・鋳鉄・スチールの塗装品および亜鉛めっき品)の錆の発生を防ぐため、金属製品に確実に養生を行うか、清掃後水洗いを十分行ってください。

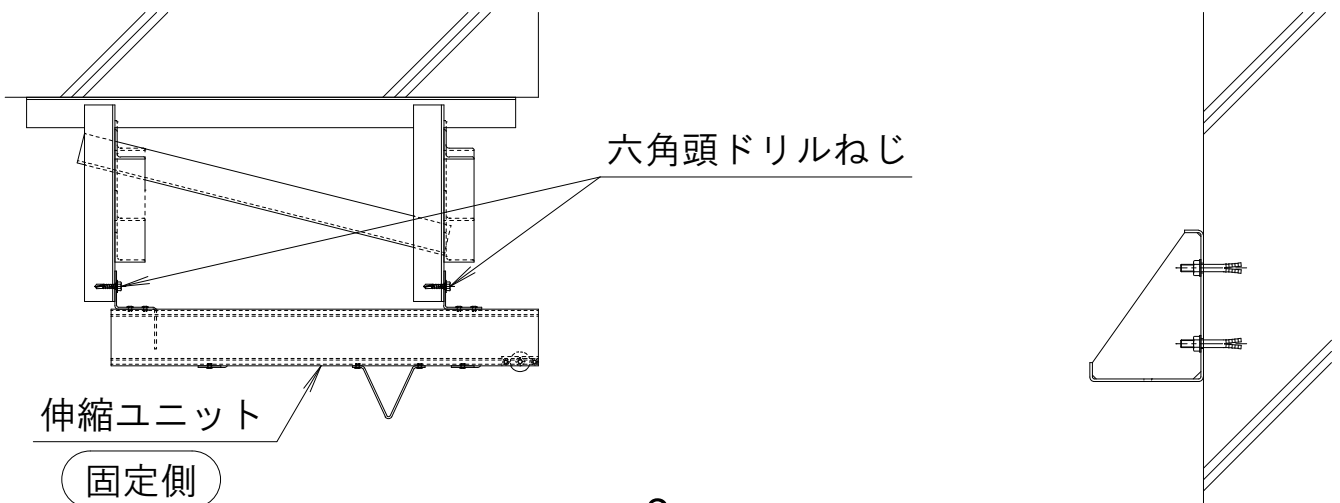
- 1 施工図に従いスラブに、下地材（別途工事）を取付けておいてください。



- 2 図面寸法に合わせて、ブラケットをアンカーボルトで壁面に固定します。



- 3 伸縮ユニットの固定側を図面寸法に合わせて、下地材に六角頭ドリルねじで固定します。



4 伸縮ユニットの固定側に可動側を差し込みます。

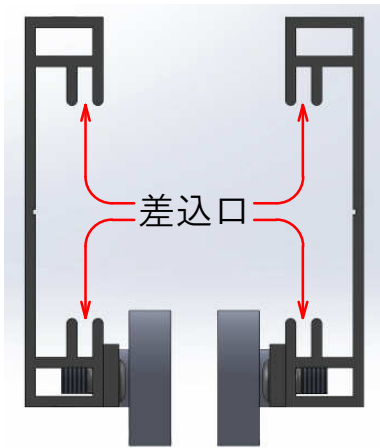
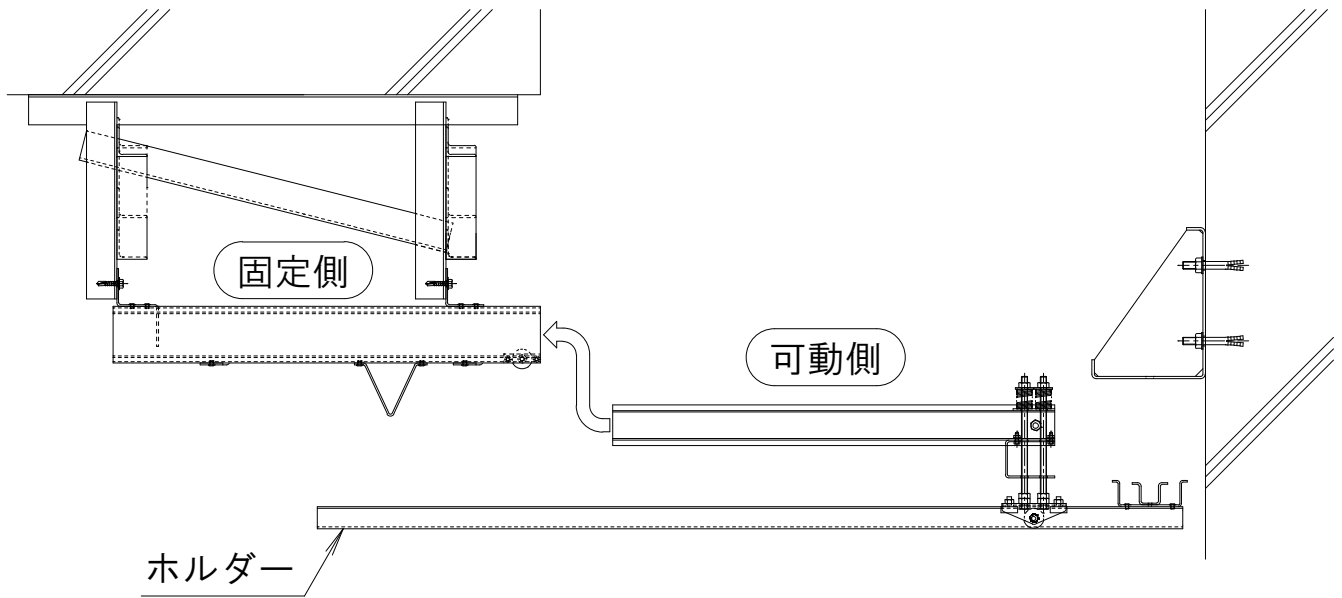
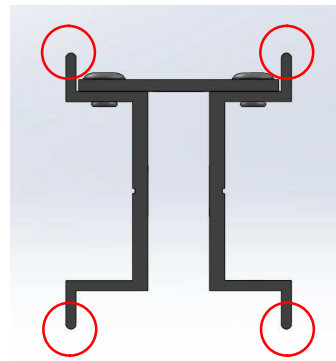


図1 固定側 断面図



○: 挿入口

図2 可動側 断面図

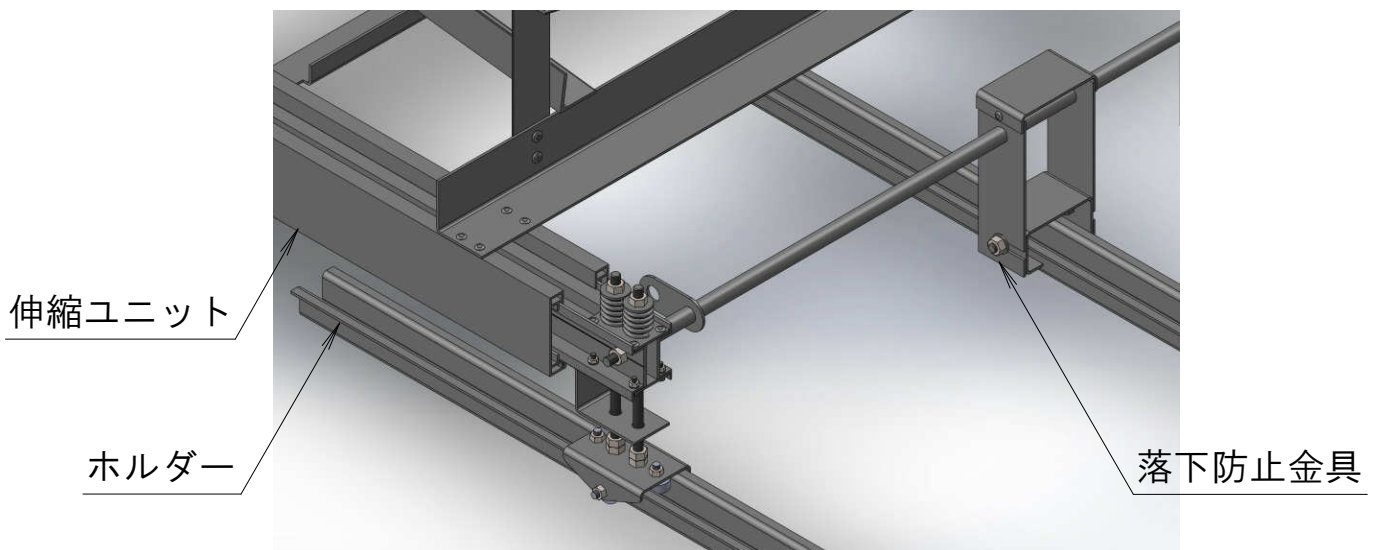
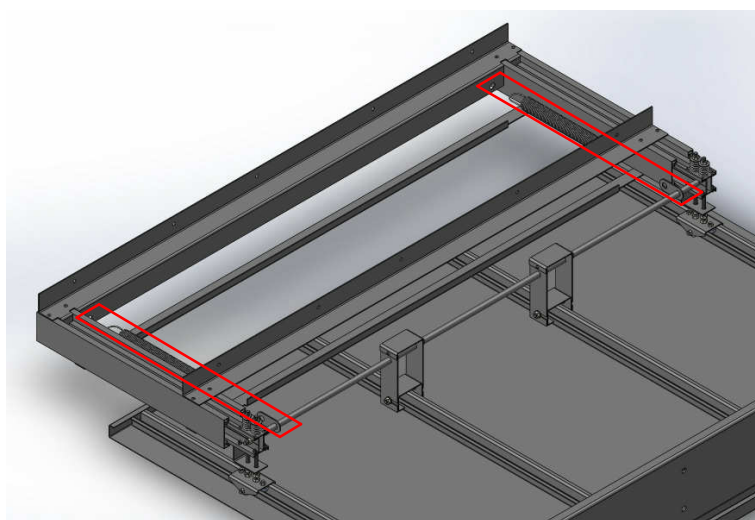
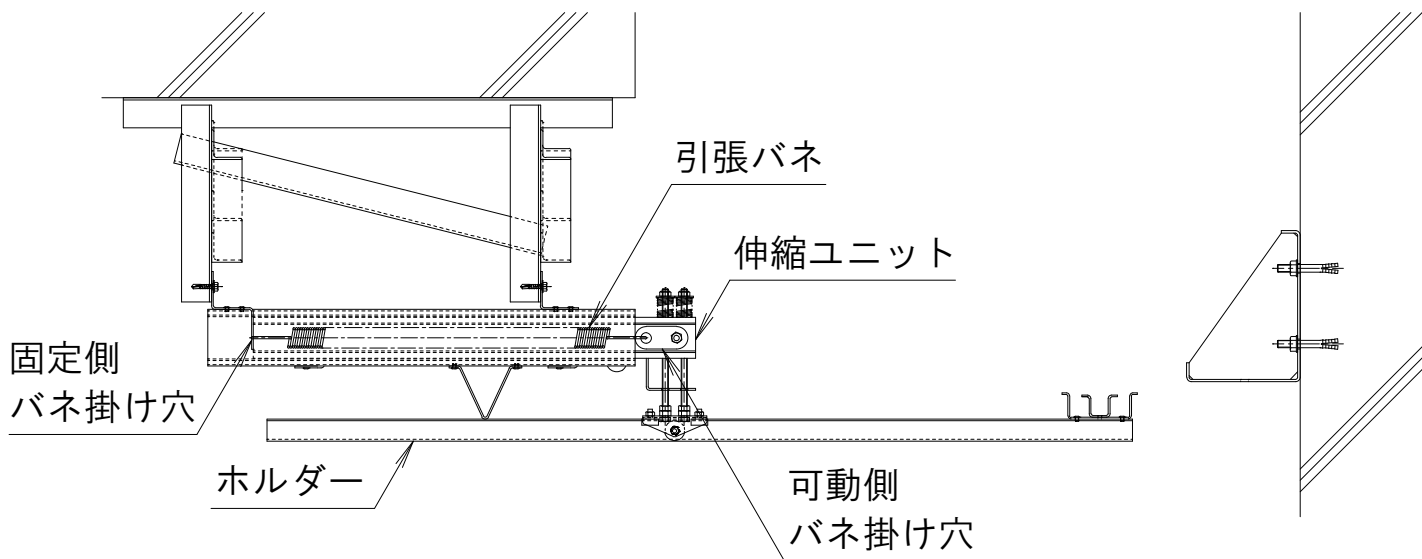


図3 伸縮ユニット詳細 斜視図

- 5 伸縮ユニットのバネ掛け穴に引張バネを取付けます。  
 ※ホルダーの各部品は未固定のため、落下にご注意ください。



□：引張バネ

図4 伸縮ユニット 斜視図

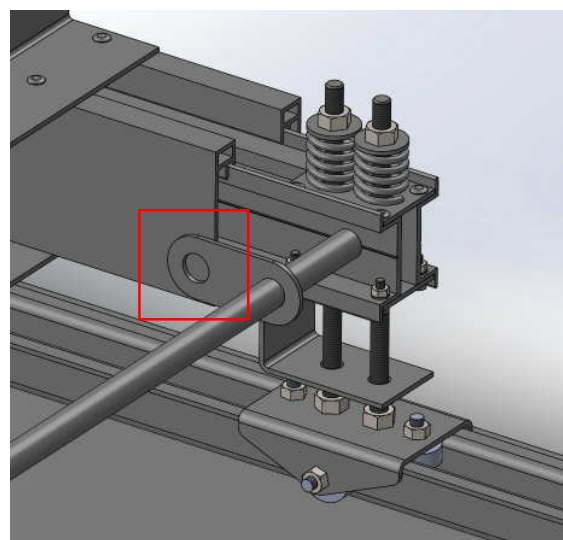
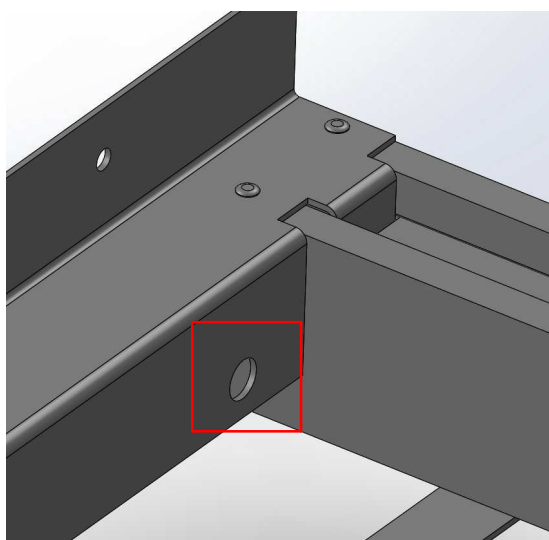


図5 バネ掛け穴位置

- 6 ローラーをホルダースライド部に端部から差し込みます。  
※ホルダーの各部品は固定されていないため、落下にご注意ください。

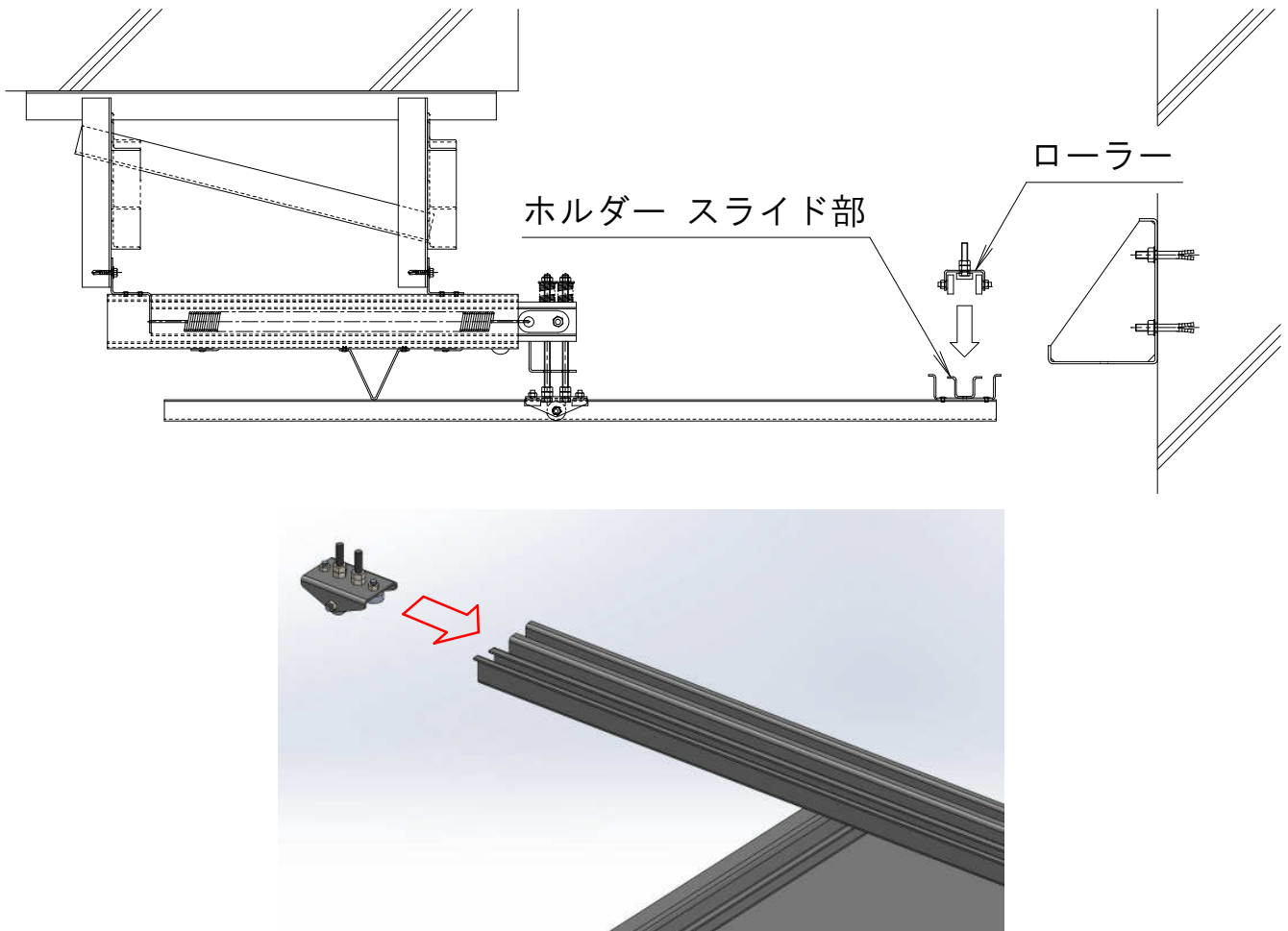
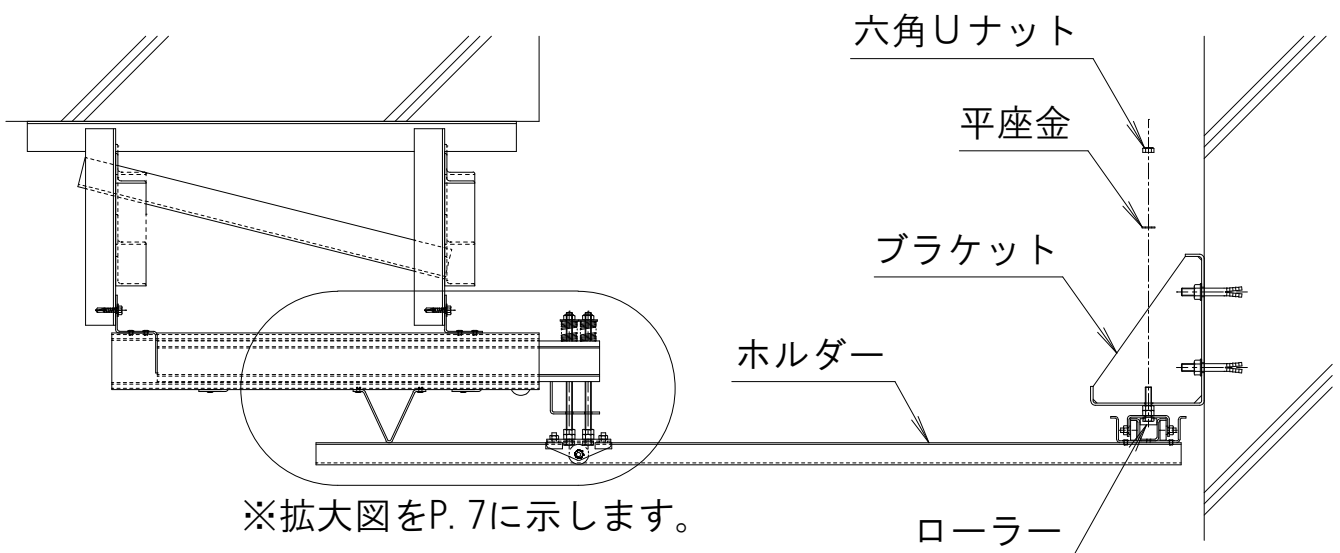


図6 ローラー差し込み 斜視図

- 6 ローラーのボルト部をブラケットの穴に通し、平座金、六角Uナットで固定します。  
水平調整の方法は、P. 7に示します。



6 【ホルダー水平調整】

ホルダーの水平調整を伸縮ユニットの六角Uナットの締め付けにより行います。ホルダーがレベラーに接触する程度を目安としてご確認ください。

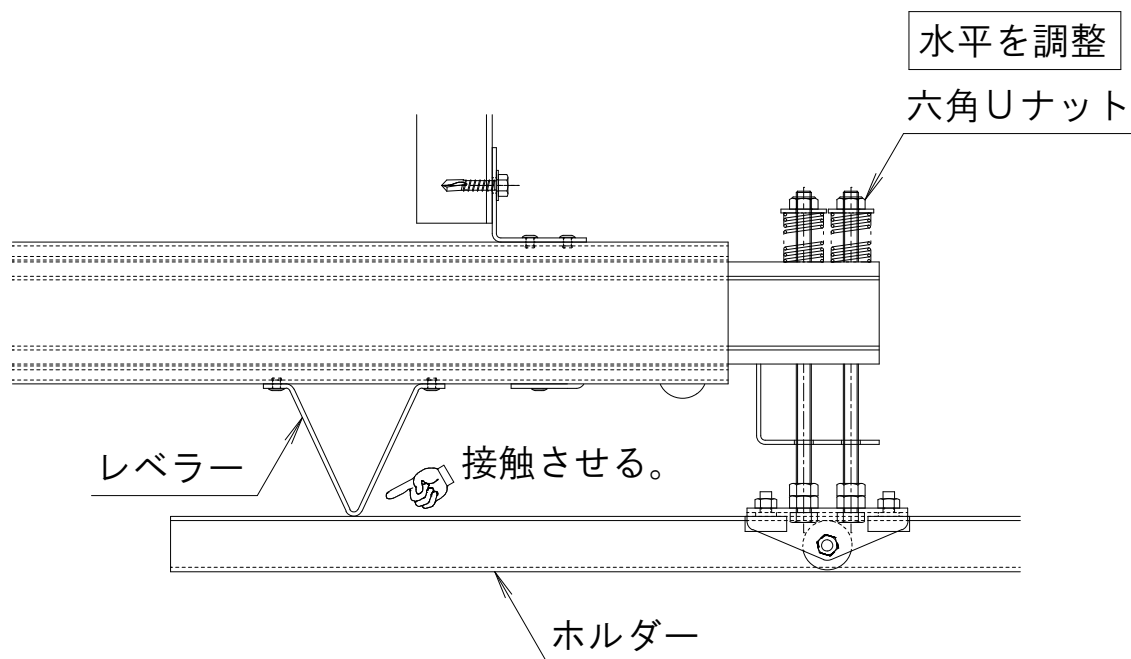


図7 拡大図

7 【落下防止金具の調整】

図8 落下防止金具のナット締め付け断面図の六角ナットの締め付け位置により、可動時、落下防止金具が変位に追従できなくなり、本体パネルやホルダーを破損する恐れがあります。六角ナットの締め付けについては、下記の寸法Aと寸法Bが同寸法を目安としてご確認ください。

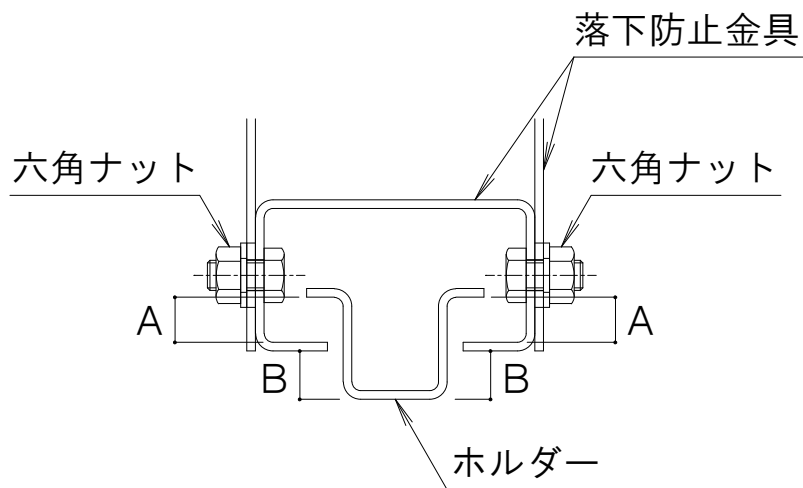
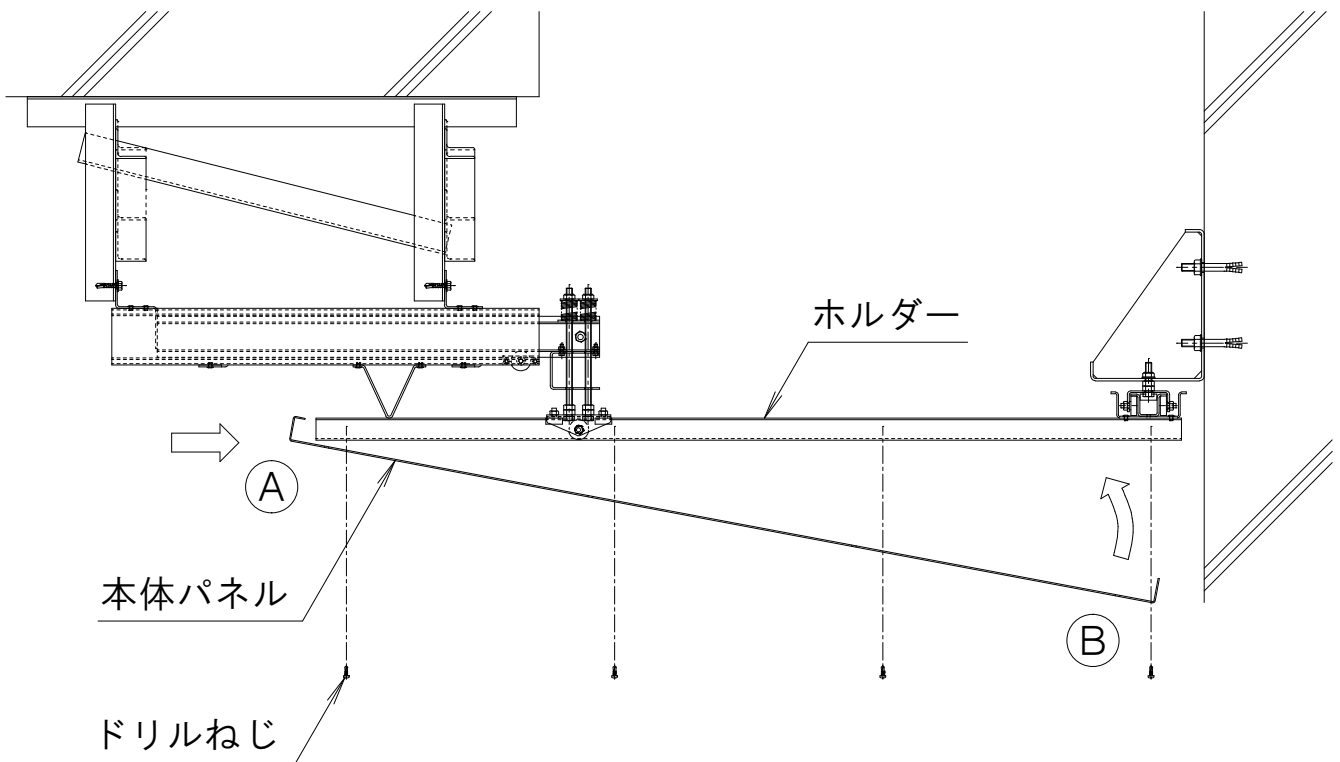


図8 落下防止金具のナット締め付け断面図

- 8 本体パネルをホルダー (A) 側より嵌合し、(B) 側を持ち上げます。  
ホルダーに本体パネルをドリルねじで固定します。



- 9 天井の仕上材 (別途) を仕上げてください。  
施工完了です。

